

## 市が運営する地域公共交通を取り巻く現状

### 1. 現況の認識

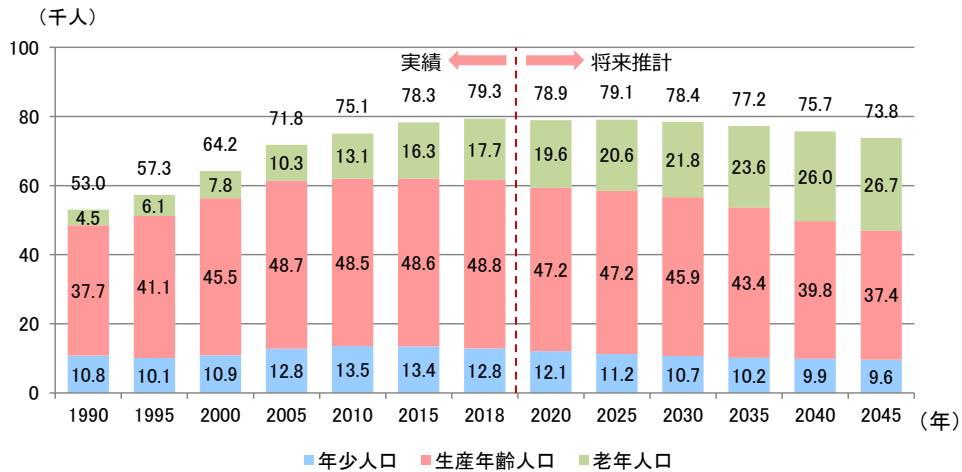
#### (1) 地勢

- ・人口 79,175人(令和元年5月末)
- ・世帯数 31,265世帯(令和元年5月末)
- ・位置 東経135°41'55" 北緯34°32'29"
- ・標高 最高275.5m 最低40.0m
- ・面積 24.26km<sup>2</sup>



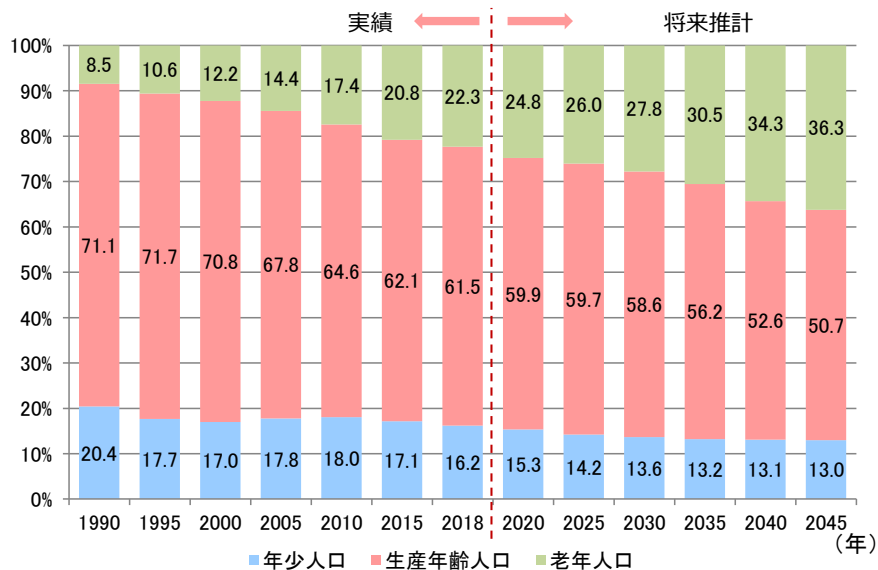
#### (2) 人に関する特徴

##### ①人口特性



資料：2018年までは総務省統計局「住民基本台帳」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所による推計

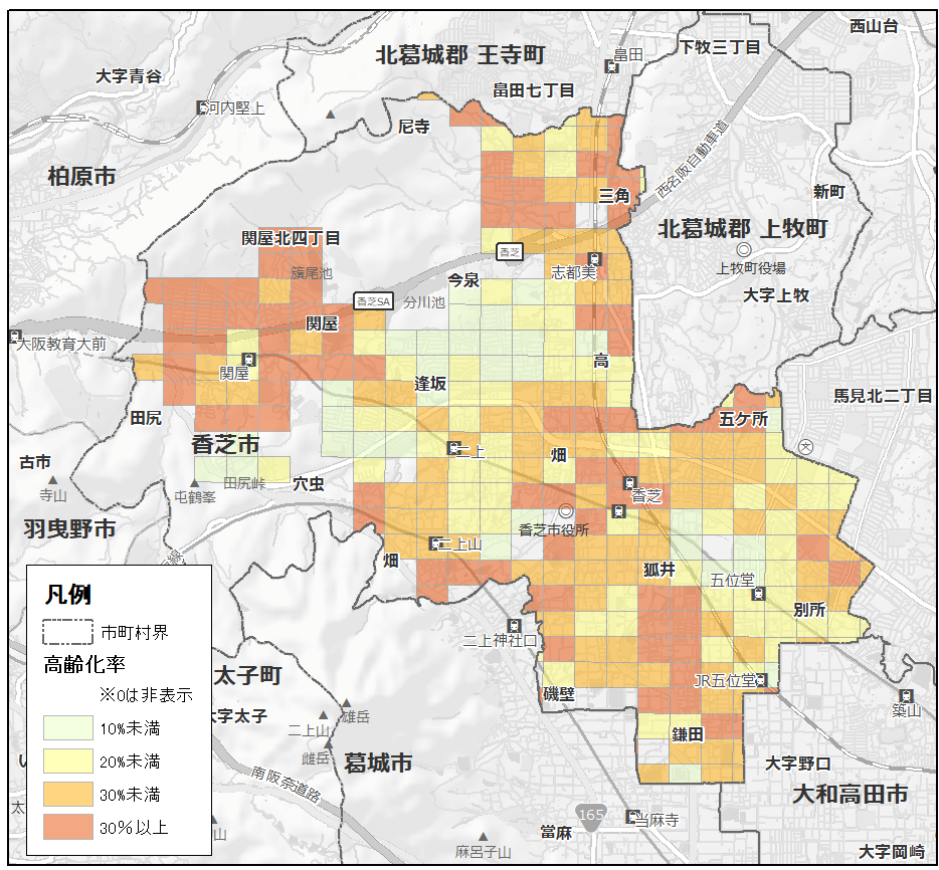
図 年齢3区別にみた人口の推移



資料：2018年までは総務省統計局「住民基本台帳」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所による推計

図 年齢3区別にみた人口比の推移



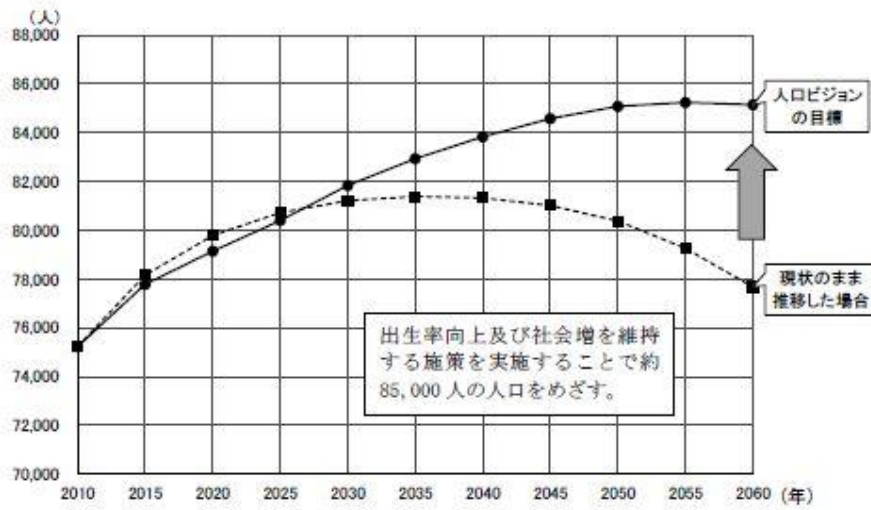


資料：総務省統計局「平成27年国勢調査」

図 高齢化率の分布状況(250mメッシュ)

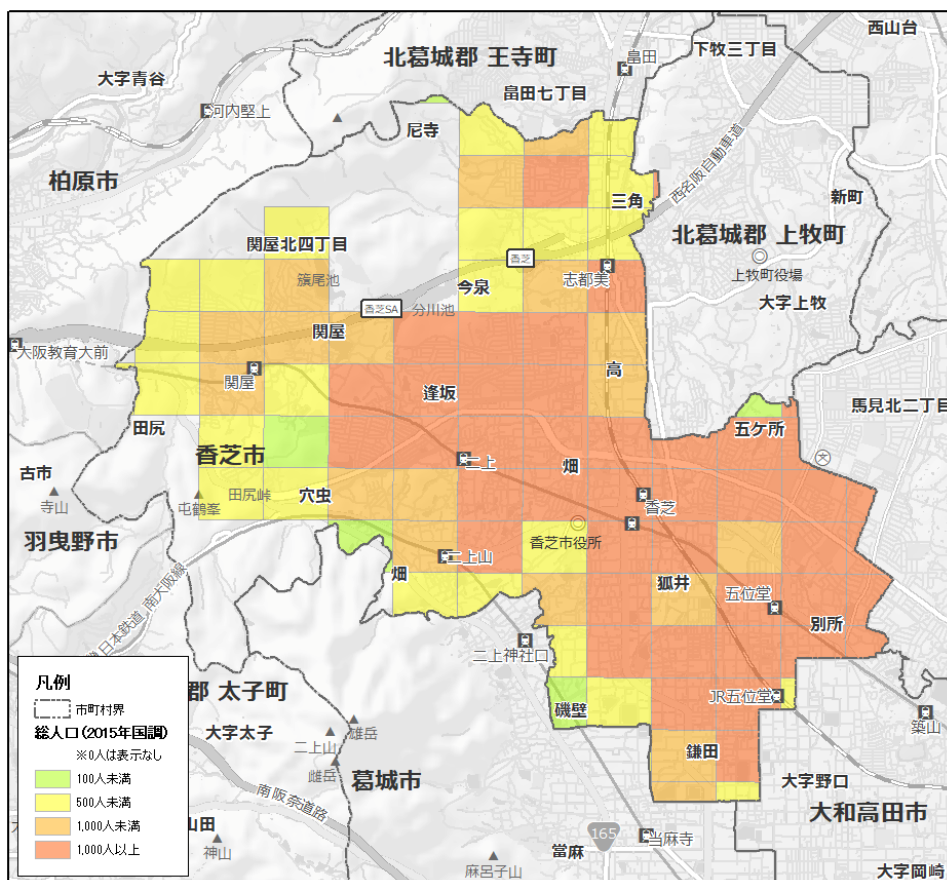
## ②将来人口の展望

香芝市人口ビジョン



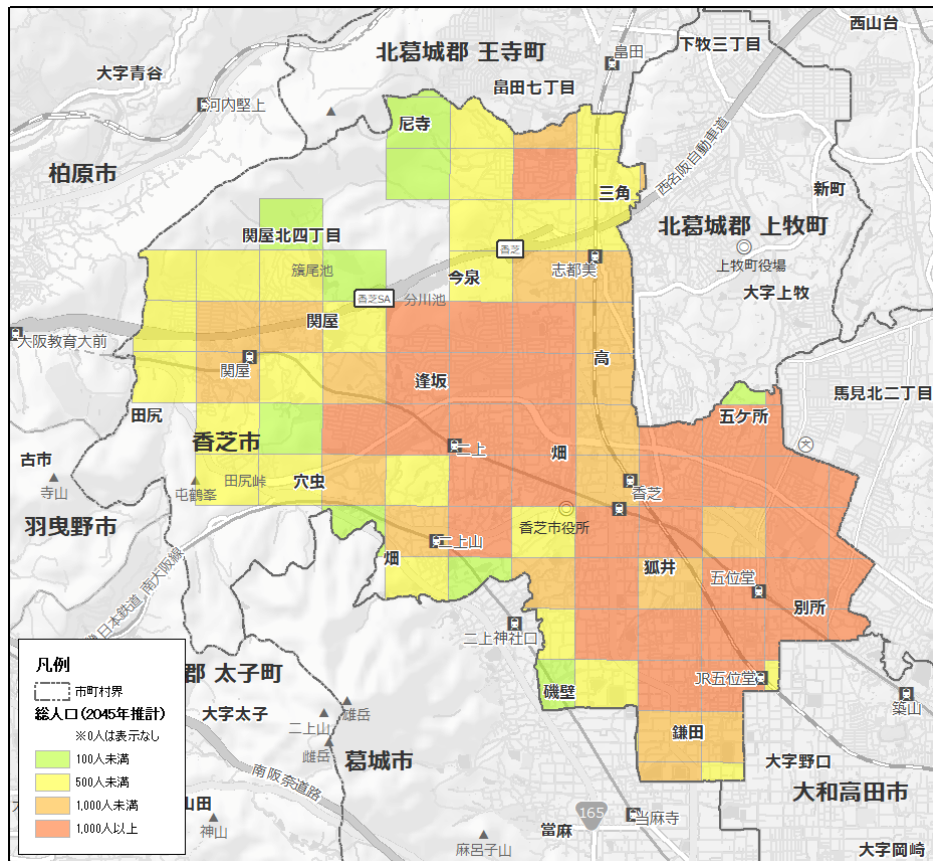
資料：香芝市まち・ひと・しごと創生総合戦略

図 香芝市人口ビジョンにおける将来人口の目標



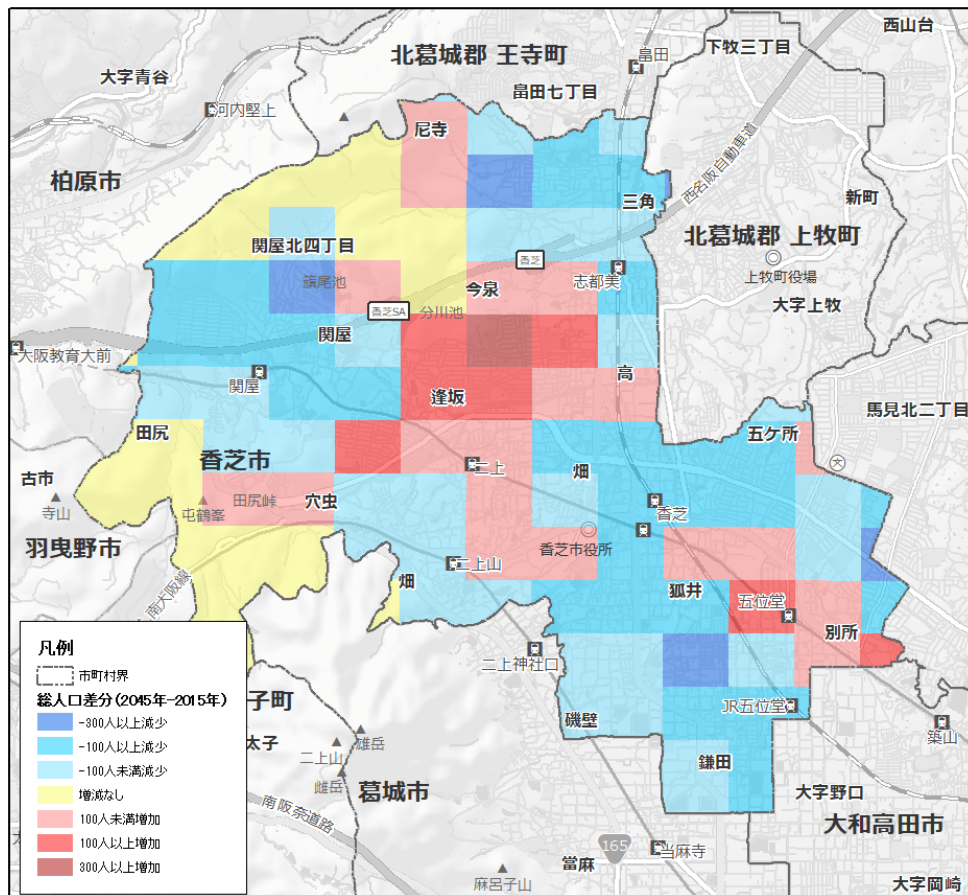
資料：国土数値情報

図 2015年現在の人口の分布状況(500mメッシュ)



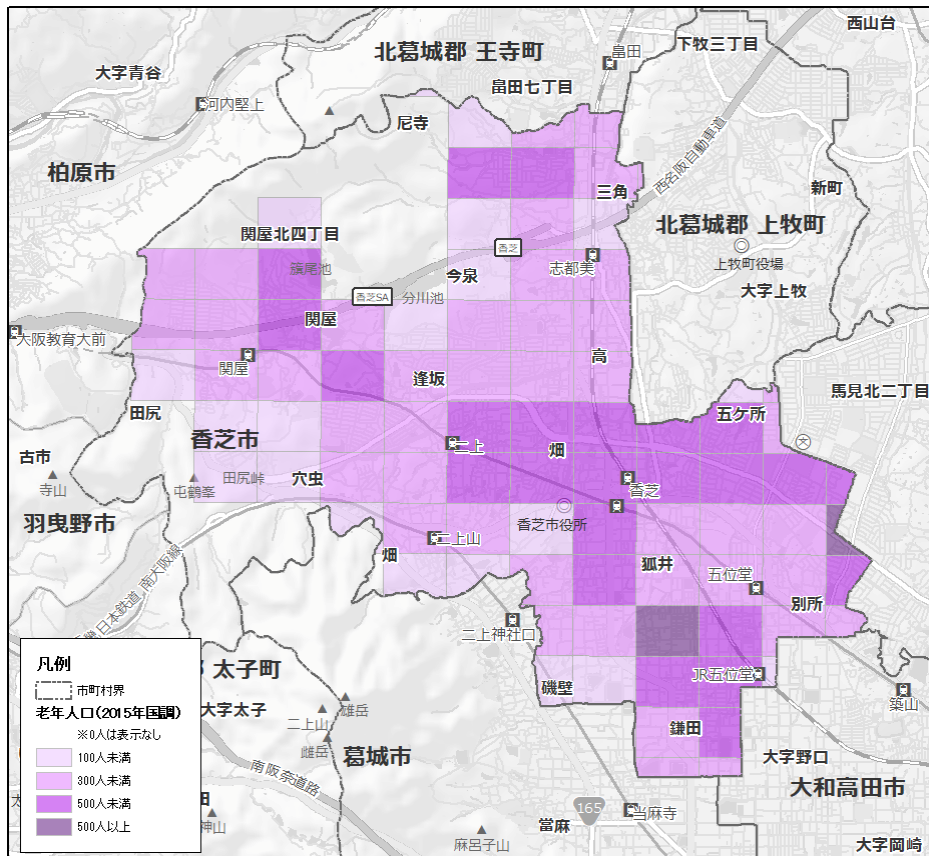
資料：国土数値情報

図 2045年の人口の分布状況(500mメッシュ)



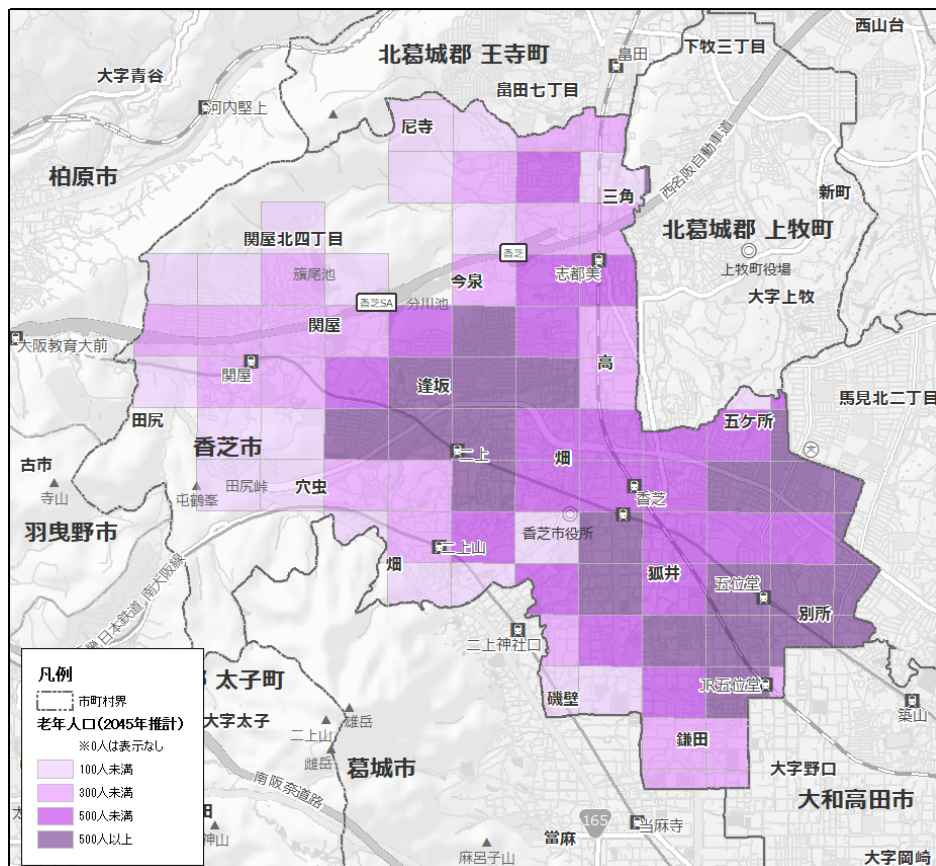
資料：国土数値情報

図 2015年と2045年の総人口の差分(500mメッシュ)



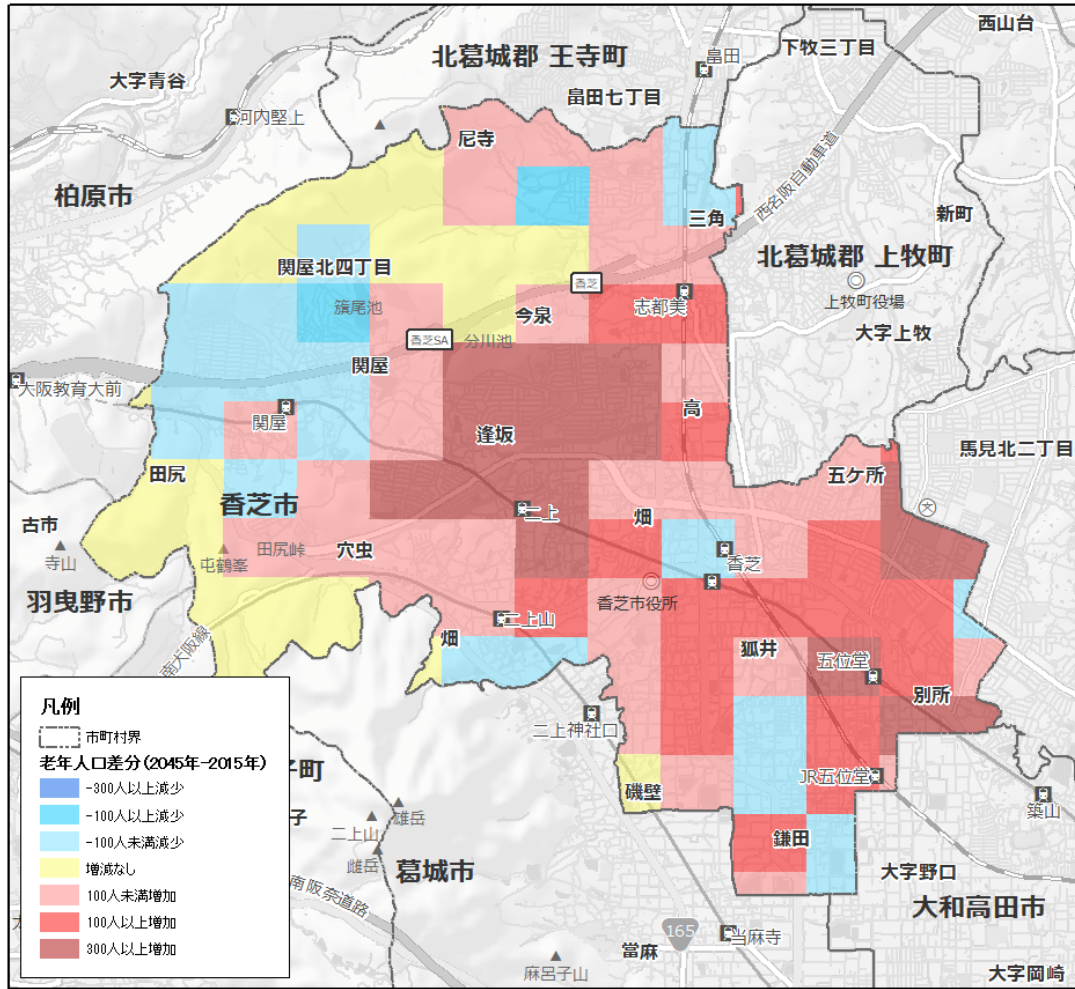
資料：国土数値情報

図 2015年の老年人口の分布状況(500mメッシュ)



資料：国土数値情報

図 2045年の老年人口の分布状況(500mメッシュ)



資料：国土数値情報

図 2015年と2045年の老年人口の差分(500mメッシュ)

### ③介護認定者

表 介護認定者数の推移

(単位：人/年)

	H25	H26	H27	H28	H29
要支援	591	619	631	593	596
要介護	1579	1723	1809	1881	1937
	2,170	2,342	2,440	2,474	2,533

資料：香芝市介護福祉課

### ④障がい者手帳所持者

表 障がい者手帳所持者数の推移

(単位：人/年)

	H25	H26	H27	H28	H29
手帳所持者総数 (人口比)	3,123 (4.0%)	3,163 (4.0%)	3,280 (4.2%)	3,371 (4.3%)	3,431 (4.3%)
身体障がい者手帳所持者数 (身体障害)	2,361	2,357	2,399	2,395	2,406
療育手帳所持者数 (療育)	517	542	568	589	598
精神障がい者保健福祉手帳所持者数 (精神障害)	245	264	313	387	427

資料：香芝市社会福祉課

### ⑤生活保護者

表 生活保護者の推移

(単位：人/年)

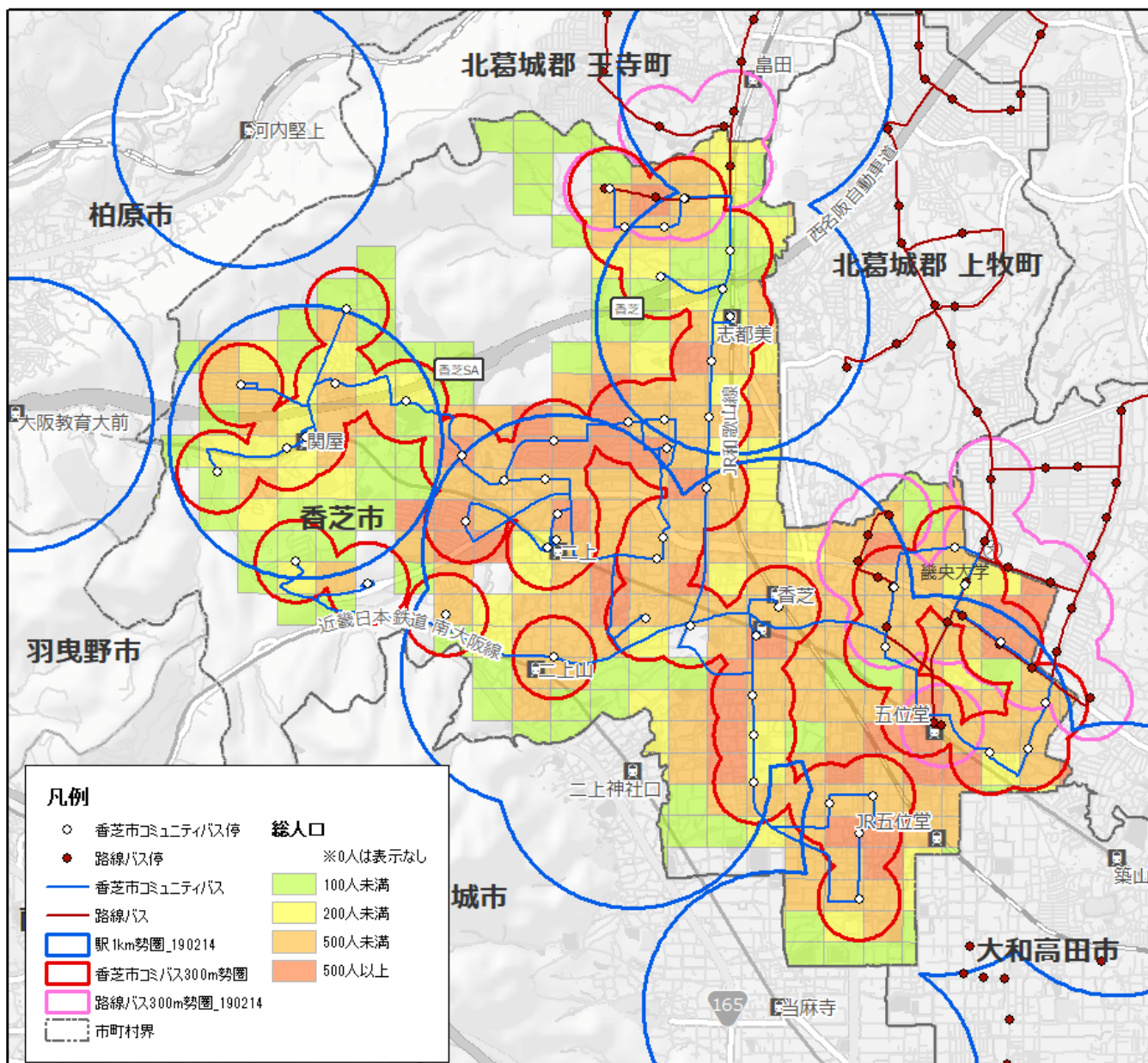
	H25	H26	H27	H28	H29
被保護世帯数	237	252	294	298	275
被保護人員	346	355	410	408	384
高齢者世帯	115	127	145	151	150
障がい者世帯	27	24	31	32	30
傷病者世帯	37	38	47	52	52
母子世帯	28	27	34	29	20
その他世帯	30	36	37	34	23

資料：香芝市社会福祉課 生活支援課



### (3) 交通特性

#### ①地域公共交通ネットワーク



資料：総務省統計局「平成27年国勢調査」

図 地域公共交通ネットワークと人口分布



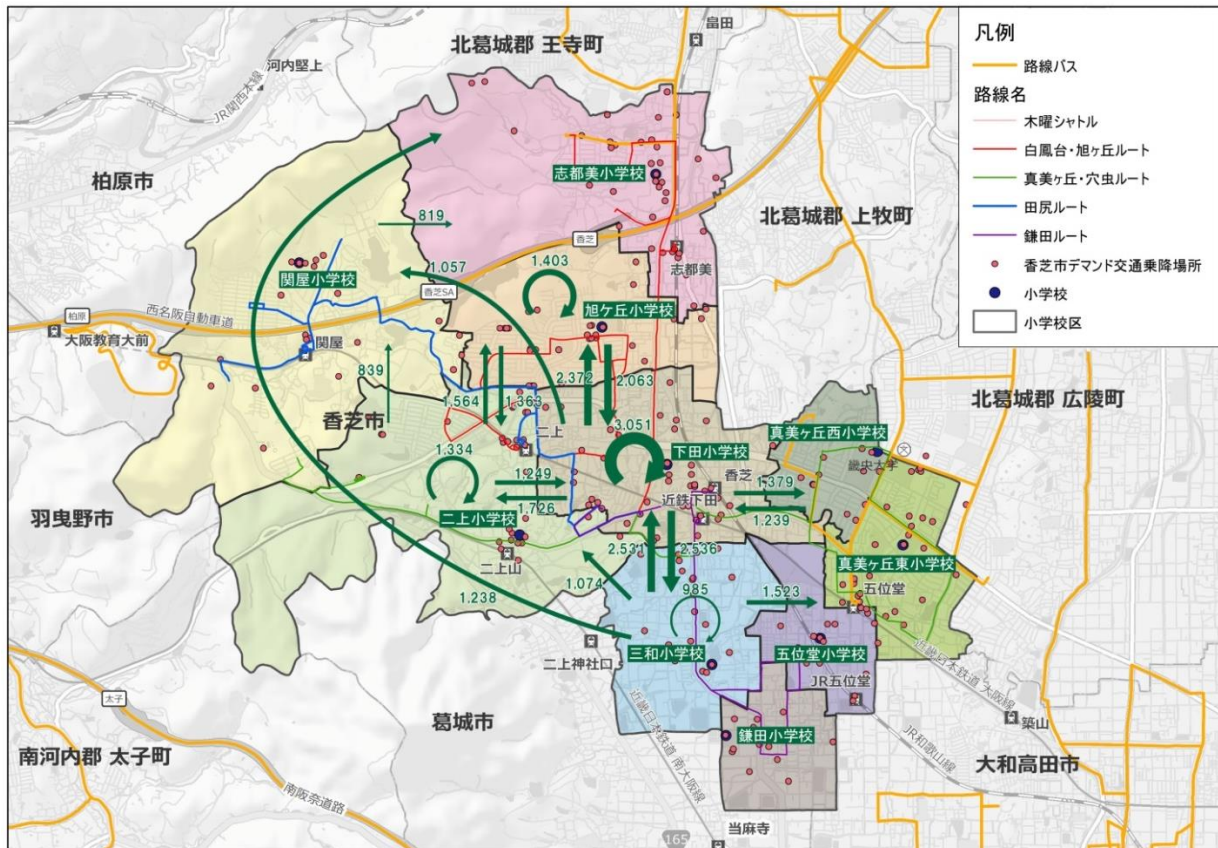
#### ④デマンド交通

表 デマンド交通の利用者数の推移

(単位：人/年)

	H25	H26	H27	H28	H29
デマンド交通	12,422	42,519	45,871	45,896	42,885

※資料：香芝市実績データ  
 ※H25. 10月 実証運行開始  
 ※H27. 4月 本格運行開始



※2018年4月～2019年3月の実績を基に集計、年間800回以上を表示

※小学校区は2010年時点

図 小学校区でみるデマンド交通の利用者の動き

表 利用回数上位20位の利用状況

順位	利用者	利用回数(回)		
		年間	週あたり	日あたり
1	A	476	9.2	1.9
2	B	473	9.1	1.9
3	C	380	7.3	1.5
4	D	364	7.0	1.5
5	E	346	6.7	1.4
6	F	317	6.1	1.3
7	G	264	5.1	1.1
8	H	258	5.0	1.0
9	I	257	4.9	1.0
9	J	257	4.9	1.0

順位	利用者	利用回数(回)		
		年間	週あたり	日あたり
11	K	252	4.8	1.0
12	L	244	4.7	1.0
13	M	239	4.6	1.0
14	N	227	4.4	0.9
15	O	225	4.3	0.9
16	P	224	4.3	0.9
17	Q	219	4.2	0.9
18	R	213	4.1	0.9
19	S	210	4.0	0.8
20	T	209	4.0	0.8

### ⑤香芝市自転車駐車場

表 鉄道駅別 自転車駐車場の利用台数の推移

(単位：台/年)

	H27年度			H28年度			H29年度		
	市内	市外	定期利用	市内	市外	定期利用	市内	市外	定期利用
近鉄五位堂駅北	1,979	4,910	6,889	2,240	4,676	6,916	1,886	4,790	6,676
近鉄下田駅地下	1,773	421	2,194	1,746	451	2,197	1,651	481	2,132
JR香芝駅	1,540	441	1,981	1,420	422	1,842	1,322	457	1,779
JR志都美駅西	254	79	333	273	74	347	373	112	485
JR志都美駅東	893	1,037	1,930	717	976	1,693	635	881	1,516
近鉄関屋駅	570	17	587	518	9	527	560	27	587
近鉄二上駅北(※)	/			/			/		
近鉄二上駅南(※)									
J R 五位堂駅(※)									
計	7,009	6,905	13,914	6,914	6,608	13,522	6,427	6,748	13,175
	27,828			27,044			26,350		

※H29年度まで民間業者により運営

### ⑥香芝市自動車駐車場

表 自動車駐車場の利用台数の推移

(単位：台/年)

	H25	H26	H27	H28	H29
近鉄五位堂駅北 自動車駐車場	41,577	46,644	50,306	52,043	45,843

#### (4) 香芝市が運営する地域公共交通の事業費

##### ①コミュニティバス

(歳入)

(単位：円/年)

	H25	H26	H27	H28	H29
使用料	0	0	0	3,126,100	6,282,410
広告収入	142,800	146,892	146,892	146,892	146,892
計	142,800	146,892	146,892	3,272,992	6,429,302

※有償化 (H28.10～)

(歳出)

(単位：円/年)

	H25	H26	H27	H28	H29
運行業務委託費	34,124,800	36,018,000	36,018,000	31,779,000	31,671,000
車両修繕費	3,042,288	6,501,450	4,204,669	6,526,724	5,158,613
燃料費	4,108,361	3,937,986	3,222,600	2,997,025	3,073,233
その他	335,405	307,340	303,820	1,925,604	715,630
計	41,610,854	46,764,776	43,749,089	43,228,353	40,618,476

資料：香芝市生活安全課

##### ②デマンド交通

(歳出)

(単位：円/年)

	H25	H26	H27	H28	H29
運行業務委託費	23,845,955	45,499,553	38,225,760	38,040,000	38,040,000
予約システム借上料	1,127,070	2,626,992	2,913,038	2,527,132	2,630,232
その他	556,837	604,143	223,861	514,004	384,816
計	25,529,862	48,730,688	41,362,659	41,081,136	41,055,048

資料：香芝市生活安全課

## (5) 市内を運行する地域公共交通の変遷

- ・平成10年 公共バス運行開始
  - ⇒ 市役所、総合福祉センター利用者のための無料送迎バス
- ・平成22年 香芝市地域公共交通活性化協議会設置
  - ⇒ 新たな地域公共交通について検討
- ・平成25年 デマンド交通運行開始
  - ⇒(1) 高齢者等の日常生活に必要な移動手段の確保
  - (2) 地域の特性に応じた手法選択による、均等な移動機会の確保
  - (3) サービスを向上させつつ、行政負担を抑えて事業の持続性を確保
- ・平成28年 コミュニティバス運行開始
  - ⇒(1) 有償化
  - (2) 各停留所を自由乗降に変更
- ・平成29年度 コミュニティバスルート変更
  - ⇒ 鉄道駅に接続するルートに変更

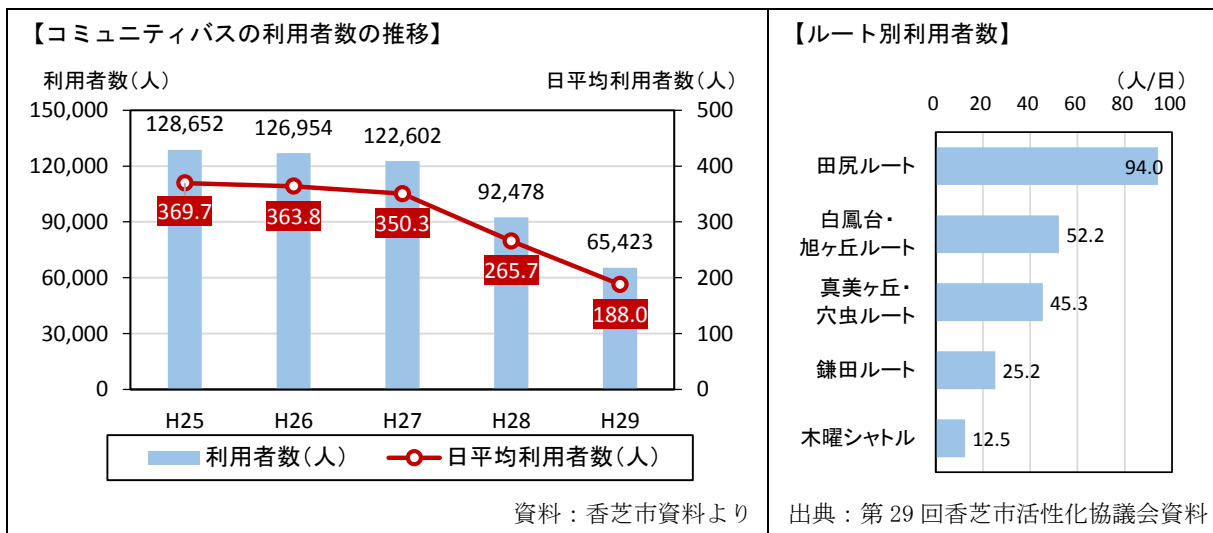
## 2. コミュニティバスにかかる問題点の整理

### (1) 利用者の主な年代と目的

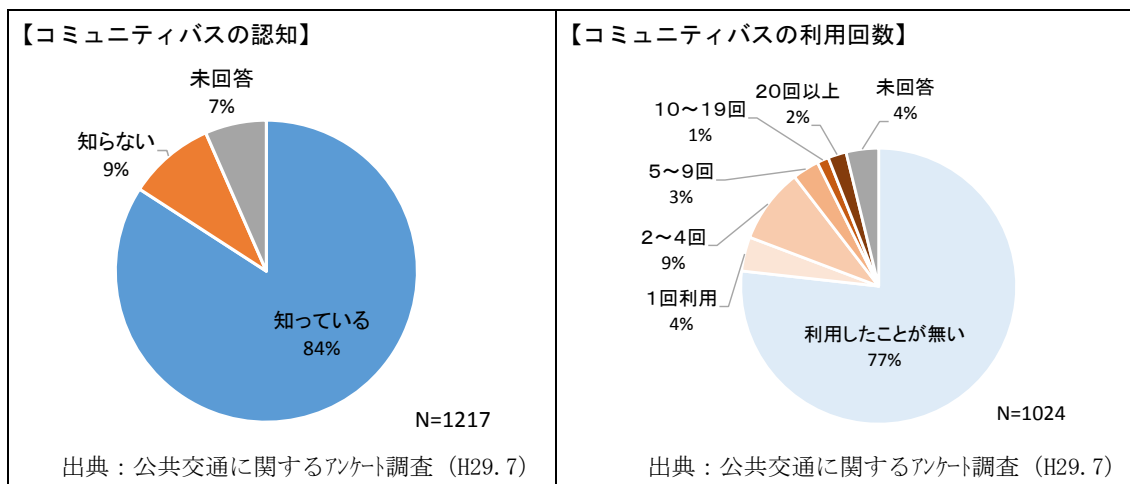
- ・香芝市のコミュニティバスの利用者の主な年代は、70歳代以上の高齢者等の交通弱者で約66.6%である。[※コミュニティバス乗り込み調査 (H29.3)]
- ・目的地別に見ると、①総合福祉センター (36.4%)、②スーパー (11.1%)、③香芝市役所 (9.9%) となっている。[※コミュニティバス乗り込み調査 (H29.3)]

### (2) 増便の要望が出ているルートや、利用者数が少ないルートがある。

- ・香芝市のコミュニティバスの利用者数は、年間では約65,000人(平成29年度)、1日あたりでは平均約190人である。  
(平成28年度から利用者数が減少しているが、有料化によるものと想定)
- ・ルート別に見ると、利用者数が多いルート(田尻ルート等)がある中で、利用者数が1便あたり1人以下の利用者数が少ないルート(木曜シャトル等)もある。



- ・香芝市公共交通に関するアンケート結果 (H29.7) において、コミュニティバスの認知度は、約84%と高いが、知っている人のうちの利用者の割合は約19%と低い。



- ・利用者の意見としては、“運行便数の増加”、“バス停の増設”、“バスの情報提供”等の意見が多い。

### (3) バス車両が老朽化している。

- ・コミュニティバスは平成 10 年度の総合福祉センターのオープンに伴い運行を開始した。
- ・バス車両は予備車を含めて、4 台所有し、全ての車両が 10 年以上経過しており、最も古い車両は 16 年所有(走行距離：約 600,000km)している。
- ・近年は、バス車両の整備費用及び修理費用が、増加傾向となっている。

【コミュニティバスの状況】



出典：香芝市資料より

### (4) 白ナンバー(自家用車)で運行しており、緑ナンバー(事業用)より安全性が劣る。

- ・平成 10 年度から運行しているコミュニティバスは、当初無料送迎バスで運行を開始し、平成 28 年 10 月から有料運行を始めることから「市町村運営有償運送」(白ナンバー)での運送形態となった。
- ・一般的なバス及びタクシーは、緑ナンバー(事業用)である。
- ・奈良県内 12 市のうちコミュニティバスの運行は、白ナンバーは 3 市、緑ナンバーは 8 市である。なお、緑ナンバーの運行費用は、白ナンバーより約 1.5 倍高い。(出典：奈良県内の 12 市の予算書より整理)



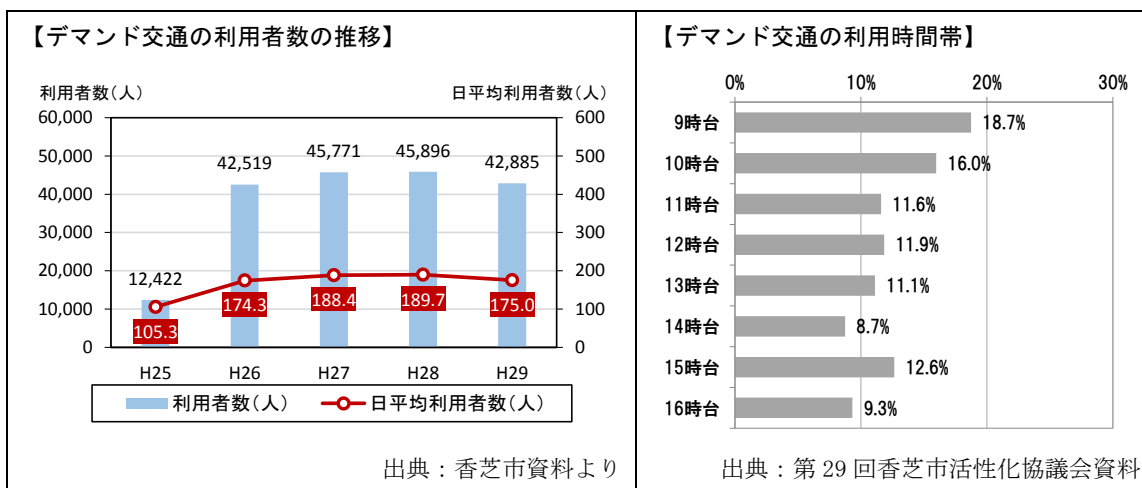
### 3. デマンド交通にかかる問題点の整理

#### (1) 利用者の主な年代と目的

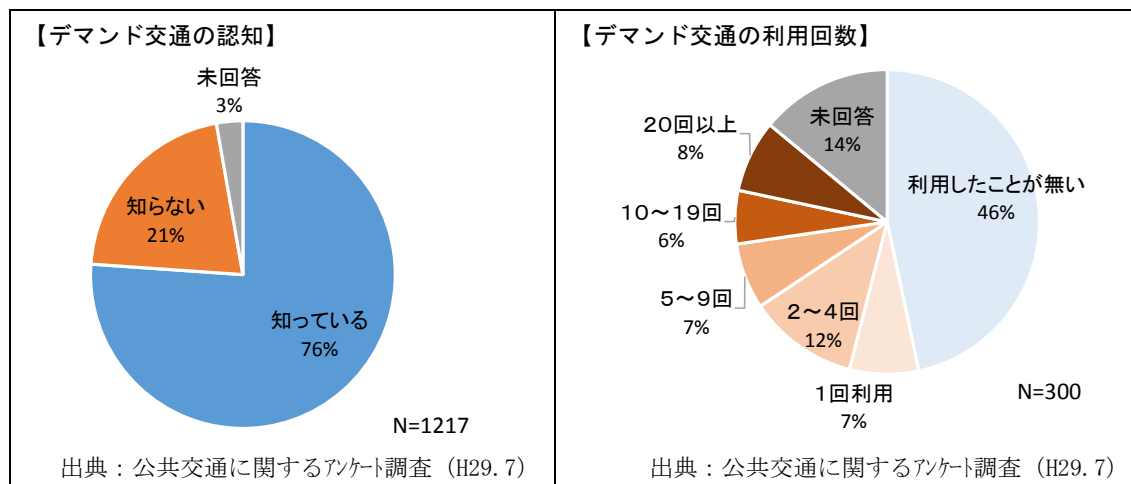
- ・香芝市デマンド交通の利用者の主な年代は、70歳代以上の高齢者等の交通弱者で約73.0%である。[※平成29年4月～平成30年1月の集計]
- ・目的地別に見ると、①総合福祉センター(4.5%)、②香芝旭ヶ丘病院(3.2%)、③ジャンボスクエア香芝(3.2%)となっている。[※平成29年4月～平成30年1月の集計]

#### (2) 予約が取りにくいとの意見が出ている。

- ・デマンド交通の利用者数は、年間では約43,000人(平成29年度)、1日あたりでは平均約180人である。
- ・利用者の年齢は70代以上が全体の4/5であり、利用時間は午前中の9時台が比較的多い。



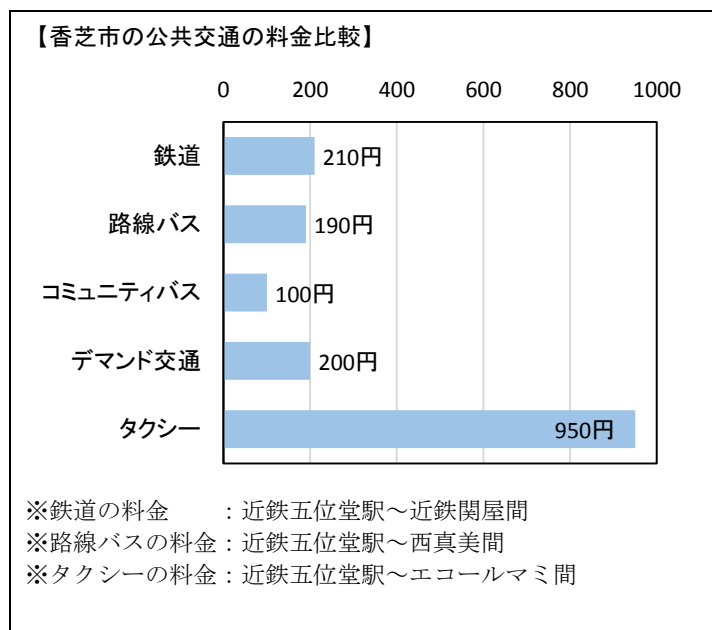
- ・アンケート結果から、デマンド交通の認知度は約76%と高いが、利用登録者のうちの利用者は約40%が利用している。なお、全体で見ると10%が利用。



- ・利用者の意見としては、“予約がとりにくい”、“運行時間の拡大”、“運航日の拡大”等の意見が多い。

### (3) タクシー事業者から「民業圧迫」との意見が出ている。

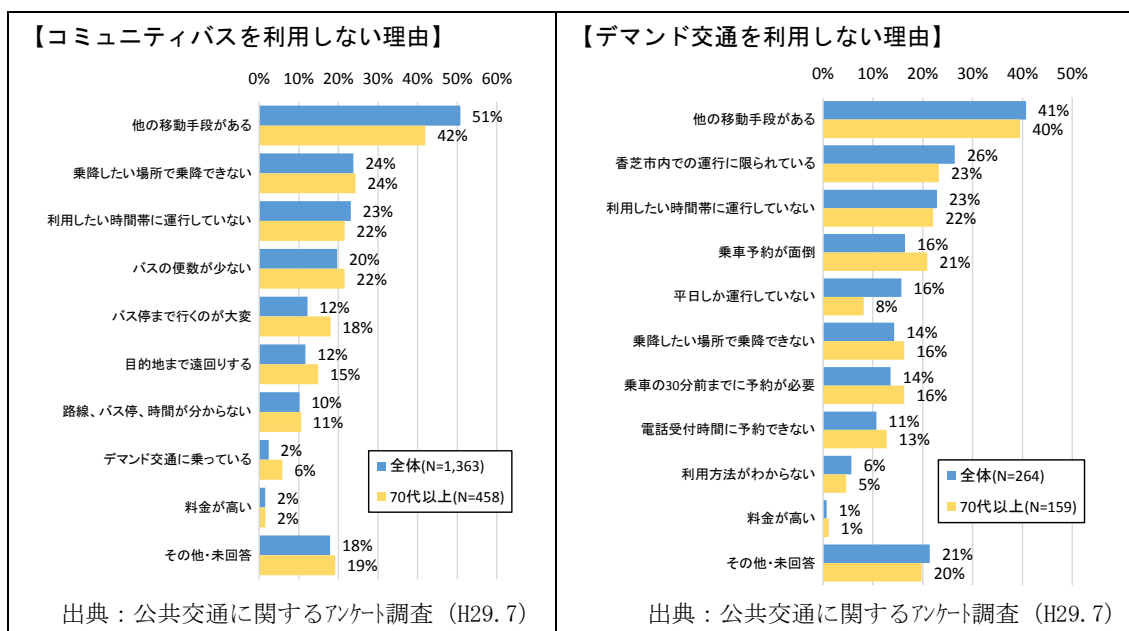
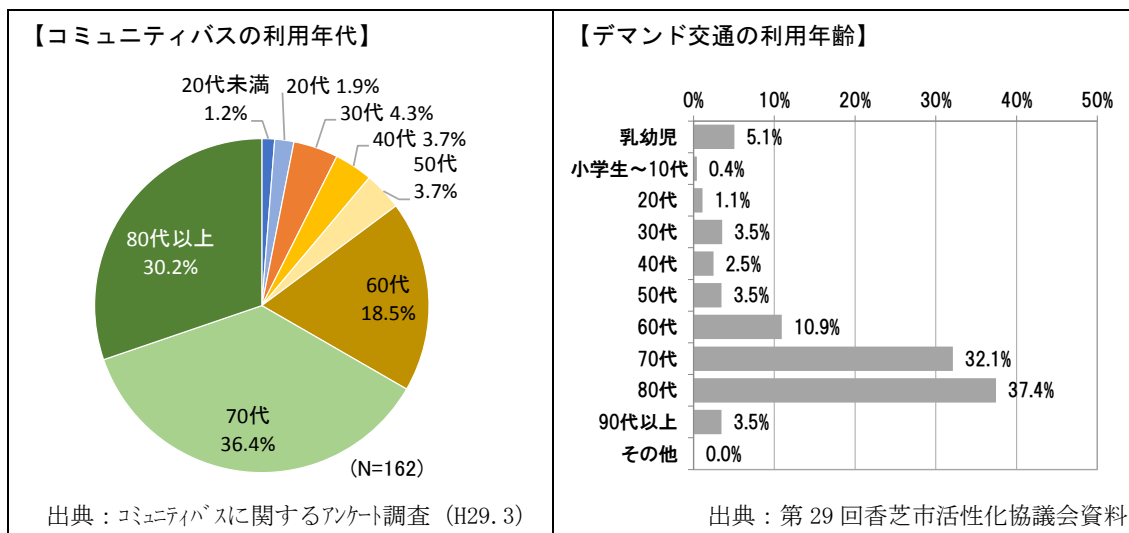
- ・デマンド交通の料金は1回 200 円であり、コミュニティバスの 100 円、タクシー初乗り料金の 680 円と比べても、比較的、安く設定されている。
- ・奈良県内のデマンド交通を運行している自治体を見ても、料金を 300 円と設定している自治体が多い。
- ・タクシー事業者から、デマンド交通は「民業圧迫」との意見が出ている。(H30.2 第 29 回活性化協議会より)



## 4. コミュニティバス・デマンド交通の利用特性

### 高齢者の利用が多い

- アンケート結果から、コミュニティバスの利用者は70代以上が約72%と全体の2/3を占める。また、デマンド交通の利用者も70代以上が全体の4/5を占めている。
- コミュニティバス及びデマンド交通を利用しない理由としては、“他の移動手段があるため”の意見が最も多い。



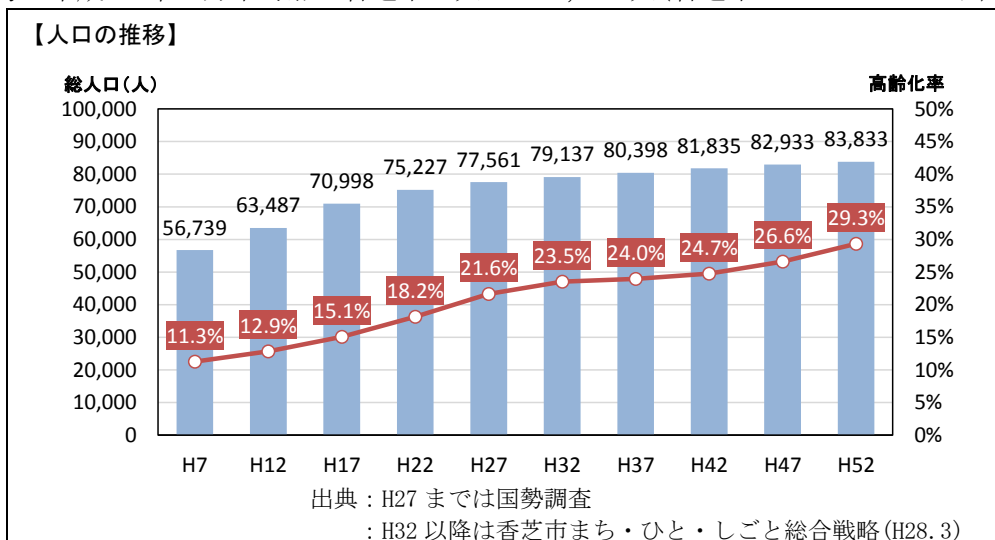
- また、“公共交通に関する情報をもっと出してほしい”との意見も出ている。

## 5. 市のかかえる問題点の整理

### (1) 将来的な人口減少

- 本市の人口は、平成 27 年は約 7 万 8 千人であり、今後も増加傾向が続く予測になっており、それに合わせて高齢化率も高くなり、高齢者が増加する傾向である。

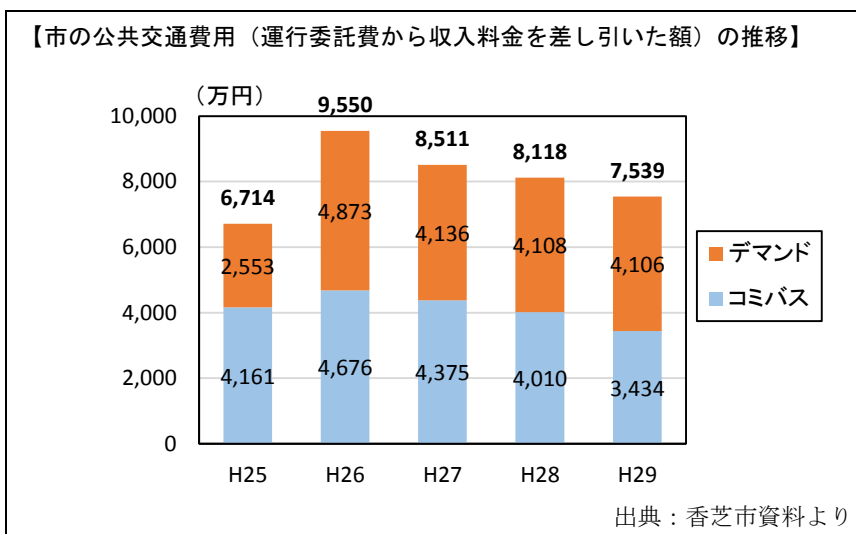
※参考 平成 30 年 3 月末時点の香芝市の人口：79,246 人(香芝市ホームページより)



- 将来的に人口減少に突入するなか、若者層の市外への流出がすすみ、雇用の減少や空き家の増加等、市の衰退に繋がるおそれがある。

### (2) 将来的な市財政の逼迫

- 市は、コミュニティバスとデマンド交通を運行しており、年間約 7,500 万円（平成 29 年度）で利用者 1 人あたり約 700 円、市民 1 人あたり約 950 円の費用負担がかかっており、ここ数年の運行費用は横ばい傾向、やや減少傾向となっている。



- ・しかし、将来的に人口減少・少子高齢化になるなか、公共交通にかかる費用は財政が圧迫するなかで、費用がかけられなくなりつつある。

